

# 【平成28年度に取り組んだ献血推進事業】 はたちの献血キャンペーン

資料2-2

## ■ 目的

冬・春の若年層献血者確保対策

## ■ 内容

東京都は都内区市町村の成人式や若年層向けイベントで、引換券付普及啓発リーフレットを、血液センターは、秋季の学域献血会場で引換券を配布。冬季～春季に都内献血ルームへ引換券を持参して献血に御協力いただいた方に、記念品を進呈

## ■実施期間・場所

配布開始年月日 : 平成28年10月1日～  
配布場所 : 区市町村成人式、都内学域採血会場等  
記念品引換期間 : 平成29年1月1日～5月末日  
記念品引換場所 : 都内献血ルーム

## ■対象者

若年層

## ■予算額

約1,000,000円

## ■ 配布枚数

成人式	27,000枚
学域献血会場	11,000枚
合計	38,000枚

## ■効果(評価)と課題

・啓発物として読んでもらえるよう、カード大引換券をA4チラシに変更して配布。啓発物として、成人式以外での配布機会が広がった。

・成人式での紙配布不可の自治体もあること、配布できても献血につながりづらいことから、より幅広く若年世代にPRする機会の開拓と、区市町村と連携した啓発の在り方の検討が必要

## ■今後の課題

全国キャンペーンの見直しに合わせ、成人式を中心とした啓発から、若者全体への啓発へ見直す。



引換券(名刺サイズ)



引換券付普及啓発  
リーフレット(A4サイズ)

# 【平成28年度に取り組んだ献血推進事業】 （東京都赤十字血液センター）若年層献血啓発事業

## ■ 目的

若年層の献血者の減少傾向を食い止めるため、子供たちに楽しく、わかりやすく、いのちの尊さや献血の大切さを伝え、「未来の献血者」を育てる。

### 1.献血啓発ブース「つながるいのちいのちのち」 ～血液センターのお仕事体験～

【内容】ワークショップ形式で血液センターの仕事体験をする。  
子供たちは白衣を着用し模型を使って、血液の検査・製剤・保存・供給作業を行う。

【日時】8月16日（火）～18日（木） 10:00～17:00

【場所】東京国際フォーラム主催のキッズイベント「丸の内キッズジャンボリー」



血漿製剤を病院に届けよう



血液が分離したよ



## ■ 効果

児童414名、保護者287名 合計で計701名が参加

### ■保護者からの感想（アンケートより抜粋）■

子どもにもわかりやすく、楽しめる内容で、更に勉強になったと思います。スライドは感動して涙が出ました。いつ自分や家族が輸血が必要な身になるかわからないので、できる限り献血に協力していきたいと思います。ありがとうございました。

## 2.献血セミナー（出張講座）

【内容】DVDの視聴、スライド教材を使用した献血の意義をわかりやすく伝える授業

【対象】小学生、中学生、高校生、大学生

【授業実施風景】



【教材例】

【ワークシート記入例】



スライド



## ■ 効果

計3,873名が参加（教員含）

### ■教師からの感想（アンケートより抜粋）■

身近に実体験がないと献血について改めて考える機会がないが、今回は良い機会になった。何か社会のためにしたいという気持ちがあっても行動を起こすのは難しいので、ぜひ献血を一つの機会としてとらえて欲しい。キャッチフレーズを考えるのはとても良い教材でした。

## 【平成29年度に取組予定の献血推進事業】 (東京都・日赤)

### ■ 献活400プロジェクト

---

献血推進2020の達成に向け、大学や30代の献血者確保対策に係る検討部会を血液センターで立上げ、短期・中長期を見据えた対策を検討し実行する

### ■ 若年層献血啓発セミナー

---

H28年度に比べ実施体制の強化を図り、特に中学生に対する献血セミナーを積極的に実施する

### ■ はたちの献血キャンペーン

---

H28年度と同規模で実施予定

### ■ 複数回献血クラブ会員の確保

---

新規の会員獲得を促進し、特に若年層を拡大する